

年 組 名前:

問1

甲州市の雨宮さんが
企画した映画のタイトルと、
なにを題材にしたかを
教えてください。

・タイトル

.....

・題材

.....

.....

.....

.....

.....

.....

問2

映画にすることを決めた
理由を教えてください。

.....

.....

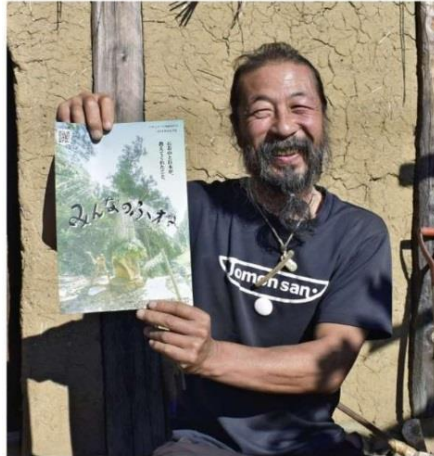
.....

問3

雨宮さんは今後、なにを計画していますか。

.....

「地球船」造り 映画に 甲州・雨宮さん 全都道府県巡る記録



ドキュメンタリー映画のチラシを手にする雨宮
国広さん
＝甲州市塩山三日市場

甲州市塩山三日市場の木工・雨宮国広さん(55)が行った、全国各地の子どもたちと石おのを使って丸木舟を造るプロジェクトを題材にしたドキュメンタリー映画が完成した。先行上映会が7、8の両日、富士河口湖町で開かれる。雨宮さんは「1600人以上と取り組んだ丸木舟完成までの物語を世界に伝え、未来に残していきたい」と話している。

〈土屋真佑子〉

7、8日 富士河口湖で先行上映

国47都道府県を回って子どもたちと石おのを使って丸木舟「ミンナ」を約1年かけて完成させる様子を描いた90分の作品となっている。雨宮さんは「人間の暮らしによって地球環境は悪化している。地球上の全ての生き物が幸せに暮らせるものづくりを子どもたちと一緒に考えた」とプロジェクトを企画。命や人、地球の関わりについて多くの人に考えてもらおうきつかけにしようと映像化を決め、面識のあった映像・楽曲制作などを手掛ける西山祐樹さん(神奈川県)に映画制作を依頼。西山さんはクラウドファンディングで資金を集めるなどして、2年以上にわたるプロジェクトの様子をカメラに収めた。

映画では、雨宮さんがスギを切り出す際に「全ての生き物が幸せになる地球船にする」と約束したことについて紙芝居を通して説明する場面や、全国の子どもたちが石おので舟を造る真剣な表情などを切り取っている。雨宮さんが原始に立ち返り行動の意味や、プロジェクトへの思いなどを語る場面もある。雨宮さんは今後、丸木舟での日本一周を計画していて、来年4月から瀬戸内海一周を始める予定。プロジェクトのホームページで航海資金の寄付を募っている。「スギを真剣に削る子どもたちの姿や笑顔に注目してほしい。映画を通して『命をいたたく』ということについて改めて考えてほしい」と話している。

先行上映会は7、8の両日、富士河口湖町西湖の「JAM AYORIZO」で開かれるイベント「ココ祭り」内で実施。7日は午後2時と8時半から、8日は午後0時半から。鑑賞無料。イベント

への入場に小学生と65歳以上は500円、大人は千円が必要。

(2024年12月6日付 山梨日日新聞 20面)